

研究計画書

ゼミ名	青木ゼミ II	チーム名	チャリ族
タイトル	デジタル・ニューエコノミーで稼ぐ時代が来た！ : UberEats 神戸上陸		
テーマ群	a)理論・情報 e)産業・企業		
メンバー			
研究計画内容	<p>近年、サラリーマンなどの仕事が終わったあとの空いた時間にできる副業として登場し、注目を集めている出前代行サービス。なかでもアメリカ・ヨーロッパ・日本などを中心に料理の宅配サービスを仲介する Uber Eats(ウーバーイーツ)がいま、岡本でも営業を開始しています。緑色のコスチュームに Uber Eats と書かれた配達用リュックを背負って自転車を走らせている配達員を見かけた人もいるかもしれません。Uber Eats は「ライド・シェア」というタクシー配車サービスを行っているアメリカの大企業 Uber の傘下企業として 2014 年にスタートしました。出前そのものは昔からありましたが、新しく登場した出前代行サービスは以前のような店員が直接お客様に配達する自前の出前サービスとは違って、スマホ経由のネットで受発注し、「配達パートナー」と呼ばれる配達員が自前で調達した自転車・バイク・自動車に乗ってお店から注文商品を受け取ってお客に配達、スマホの GPS 機能を活用して適時・妥当な価格で食事を注文・配達する新しいビジネスです。スマホのネットを通じて、単発の仕事の受注を行う斬新な雇用形態を「ギグエコノミー」といいます、本場アメリカのカリフォルニアではこうした新しい働きが急速に拡大しており、その一翼を担っているのが Uber Eats の配達パートナーです。なぜこうした新しいビジネスが登場し、流行るのでしょうか？またその社会的メリットとは何でしょうか？この調査・研究では、(1) Uber Eats のビジネスの特徴はどのようなものか？(2) Uber Eats が急拡大する理由は何か？また、その課題は何か等を中心に、ミクロ経済学の利点から明らかにする予定です。</p>		